

伊藤志宏 + 岩川光

piano

quena

2017 01月07日(土)

開場 19:30

開演 20:00~ ※時間がイレギュラーです!

(2ステージ 入替なし 途中入場可) (1drink=600円~)

MC 3000円 + 2drinks order

CAFE **B** EULMANS

お問い合わせ: info.cafebeulmans@gmail.com

TEL: 03-3484-0047

世田谷区成城6-16-5 カロザ成城2F

イベント日以外 営業時間

cafe time 15:00 -

bar time 19:00 -

火曜日・日曜日定休 イベント日以外

メールでのご予約の場合、必ず当日ご連絡がとれる電話番号をご記載ください。



伊藤志宏

ピアニスト、ボタンアコーディオニスト、作曲家、アレンジャー、プロデューサー。五歳の頃より祖父の岸川基彦にクラシックピアノを師事する。14歳のとき東京交響楽団とベートーベンピアノコンチェルト三番を共演好評を博す。慶応義塾経済学部入学後セロニアスモンクのソロピアノのCDを聞いて「ジャズもいいかも」と思い独学で始め音楽理論も同時に一人で学ぶ。23歳くらいからいつの間にかライブを始めるようになりプロ活動を開始時にドラム、ベースのいない変則形態における演奏には定評がある。今現在、ソロピアノ、ピアノトリオ、多様な編成での独自の活動を模索中。また沢山の歌手から伴奏者、アレンジャーとして信頼を寄せられる。

<リーダー作>

2012年10月、自身の初リーダー、プロデュース作品「ladies & pianoman」を発表、ウィリアムス浩子、島山美由紀、青木カレン、一青窈、たなかりかななど10人のボーカルを集め、ジャズスタンダードを独自の解釈で表現。2014年、「ヴィジオネール」と3 cello varistion「タペストリア」をリリース。

岩川光

独自の革新的な演奏技術でケーナの可能性を刷新し続ける演奏家であり、複雑でありながらダイレクトに琴線に触れる楽曲に定評のある作曲家である。9歳よりケーナを始め、リコーダー、音楽理論や作曲法も同時期から学ぶ。後にボリビアなどで研鑽を積む。各国の様々な音楽祭への出演やツアー公演を通じ高い評価を得る。13年よりブエノスアイレスに活動拠点を置き、ディノ・サルベシ、ハイメ・トーレス、フアン・ファルーら世界的巨匠たちとも共演を重ね、惜しめない賞賛を受ける。現在はソロ、キケ・シネシとのデュオ、自身のトリオ(佐藤芳明、林正樹)等を軸に、複数のプロジェクトを、日本とアルゼンチンを股にかけ展開。『deseo』(2014・シネシ&岩川)、『primero』(2014・岩川トリオ)、『amalgama』(2015・イルマス&岩川)を発表。2015年8月よりハイメ・トーレスのケーナ奏者も務める。2016年10月には新主宰レーベルOTONOMADOより、岩川光トリオ名義で『SEGUNDO』、岩川光ソロ名義で『SOLO』を2枚同時リリース。